

# 貧酸素水塊速報 (2014年)

【発行】 ○ 千葉県水産総合研究センター  
 神奈川県水産技術センター  
 千葉県農林水産技術会議  
 内湾底びき網研究会連合会

【協力】 千葉県環境研究センター  
 第三管区海上保安本部  
 ○ 東京都環境局  
 (独)国立環境研究所  
 ○ モニタリングポスト(海上保安庁, 国土交通省 関東地方整備局)  
 (今回の速報は“○”の機関の観測データを使用して作成しました)

## 平成26年7月8日観測結果

溶存酸素量0.5mL/L以下とほぼ無酸素状態の貧酸素水塊が、内湾北部の広い範囲に分布しています(図1)。

縦断ラインの鉛直分布を見ると、このような極度の貧酸素水塊が10m以上の厚みを持って広がっています(図2)。このため、溶存酸素量2.5mL/L以下の貧酸素水塊の規模は、直近10年の平均を上回り拡大しています(図3)。

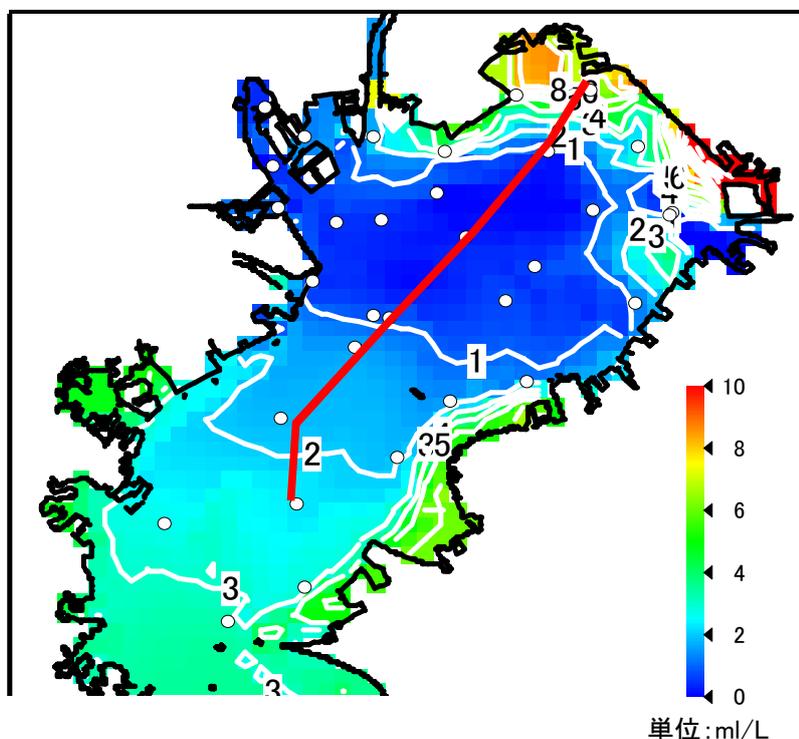


図1 底層の溶存酸素量分布(赤線は縦断ライン)

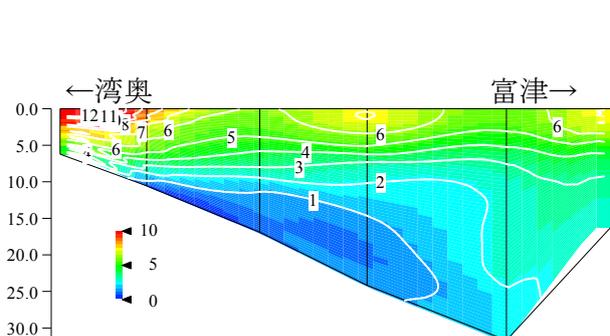


図2 縦断ラインでのDO鉛直分布

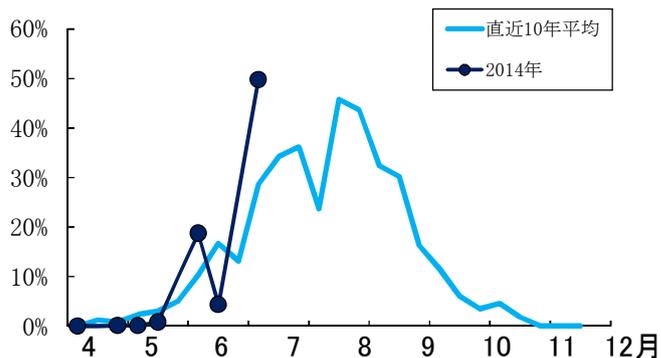


図3 貧酸素水塊の規模  
(左図で貧酸素水塊(2.5ml/L以下)が占める割合)